



和かっぱ

まもなく11月に入ります。肌寒くなってきましたが、みなさんどうお過ごしでしょうか。秋は一般的にスポーツの秋や読書の秋などと呼ばれていますが、暑い夏にはできなかったことをチャレンジしてみるのもいいかもしれませんね。



和食ダム 現在の様子

これまでに引き続き左岸側の再掘削を進めており、9月末時点において**標高100m**までが完了しました。これにより、掘削面はダムの天端と同じ高さとなり、堤体側から掘削の様子がはっきりと見られるようになりました。また、新残土処理場では着々と整備が進み、右写真のように小段排水路が取り付けられています。

なお、工事の進捗を図るために**18時まで**作業をする場合があります、騒音等ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願いします。



左岸側の掘削状況



ダム天端から掘削面を望む



新残土処理場の整備状況



工事情報

タワークレーン稼働！！

掘削高さが標高100mまで完了したことにより、タワークレーンの使用が可能となりました。

クレーンの重さは**600t**もあり、最大作業半径**75m**時に**13.5t**までのものを吊り上げることができます。

そのため、これまでは掘削した土砂を上流側からダンプトラックのみで運搬していましたが、下流側からもタワークレーンを利用して土砂を搬出できるようになりました。運搬方法は、クレーンの先に**ベッセル**という舟形の入れ物を吊し、掘削面のバックホウ付近に下ろして土砂を積込むというやり方です。

ちなみに、操作室の中には一日中作業を行うことを想定して、トイレやエアコンなどが完備されており快適に過ごすことができます。内部の様子については、また次号紹介しますので楽しみに。



上流から下流を望む



ベッセル

掘削土砂の運搬状況





和食川 河川環境学習会 芸西小学校 4年生



10月15日に芸西小学校4年生を対象に和食川の河川環境学習会を行いました。

始めは、教室で和食ダムの役割や上下水道の仕組みなどについて学習しました。和食ダムの大きさに驚きの声が上がったり、普段自分たちが当たり前に使っている水のことについて熱心に考えている様子が見られました。

その後、みんなで和食川河口部のかっぱ公園に移動して、自然と触れ合う体験型学習を行いました。水質試験では、子どもたちが持ち寄った生活排水（米のとぎ汁、石けん水など）を使用して、着色の度合いで汚れを計るパックテストをすると濃く着色されて生徒たちは驚いていました。一方、和食川の水でテストしてみると、容器は無色透明となり和食川のきれいさに生徒たちはうれしそうな様子でした。

そして、子どもたちが一番楽しみにしていた生き物探しでは、みんな夢中になって生き物を探してメダカや小エビなどたくさんの生き物を上手に捕まえて、楽しそうに目を輝かせていました。

最後に和食川がどんな川になってほしいかについて発表してもらい、「ゴミのない川」や「生き物が住みやすい川」になってほしいというような意見が出ました。

子どもたちにこの芸西村の自然豊かな環境を大切に思ってもらえるよう、これからも継続して開催していきたいと思います。



和食ダムについての学習



上下水道についての学習



和食川で生き物探し



水質試験の様子



集合写真

芸西村の史跡紹介【第26弾】

《馬床の標石》

県道羽尾琴ヶ浜線^{は おとが はま}を久重の方へ行くと、道沿いに高さ1メートル^{ひだりちようくし みち}くらいの標石が1つ建っています。「左長谷寺道^{ひだりちようくし みち} 従是^{これより} 一里十四丁」の文字が彫られており、他にも久重山などの字が刻み込まれていますが、破損して読み取ることができません。いつの時代に建てられたものかはわかりませんが、かつては右に行く道もあったのではないのでしょうか。馬床^{うまどこ}というからには、広く平らな場所があり、人も馬も一息入れていたのかもしれませんが。

ちなみに昭和30年代、土佐電気鉄道のバスが久重まで通っていたころには、この場所に馬床という駐車場がありました。

今回は、「大東亜戦争^{たいとうあせんそう} 記念碑^{きねんひ}」です。



次回の発行時期は、11月末を予定しています！